



畿央大学



畿央大学付属幼稚園



関西中央高等学校

冬木学園の「いま」「みらい」
をお届けします。

■ 特集

リーダーを育てる
理事長に聞く「リーダーの条件」
今求められるリーダーシップとは
畿央大学が育てる理学療法士のリーダー
チームワークの中で育つリーダー
教員をめざす学生たちの取り組み
リーダーシップを育てる
生徒会リーダー研修会の試み

■ シリーズ VOICE

■ シリーズ 私の先生・私の教え子

卒業関連行事

(全イベント入場無料・予約不要)

畿央大学

健康科学部人間環境デザイン学科

『大卒業展』

日時 3月2日(土) 10時～18時
3日(日) 10時～16時

会場 奈良文化会館

2012年度の「卒業研究・作品展」は、畿央大学開学10周年事業の先駆けとして、今年の卒業研究はもちろん、在校生の演習課題の作品および過去6年間の卒業研究の集大成を披露します！
また3月2日(土)14時半から、歴代の優秀作品を制作した卒業生によるシンポジウムを予定しています。
皆様のご来場をお待ちしております。



関西中央高等学校

表現・情報コース学年末発表公演

2009年に開設された表現・情報コースの2回目となる「表現・情報コース学年末発表公演」を開催いたします。今年も必ずや感動ある公演になると思います。みなさまお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

日時 2月23日(土)
13時開演

会場 橿原文化会館



昨年の卒業記念公演の様子

畿央大学付属幼稚園

生活発表会

毎年恒例の生活発表会が今年も桜井市民会館で行われます。マーチング、歌、オペレッタや和太鼓など、日頃の保育の成果をご覧下さい。

日時 3月2日(土)
9時開演

会場 桜井市民会館



昨年の生活発表会の様子

編集後記

今年の初空の晴れやかさに、幸多き一年を予感しました。
冬木学園では、畿央大学は開学10周年を迎え、3月の人間環境デザイン学科による『大卒業展』を皮切りにして、今まで支えてくださった皆様に感謝の気持ちを伝えるイベントを多数開催いたします。已年にちなみ、探究心と情熱を忘れず、一皮むけた畿央大学に乞うご期待ください！

理事長に聞く

リーダーの条件

冬木学園理事長
冬木 智子



**人は一人では生きられない
という謙虚さを持つこと**

リーダーというと、先頭に立ってみんなを引っ張る指導者のな人物というイメージがあると思いますが。しかし、リーダーとは「その人と一緒に生きてい」「助けたい」と心を寄せてもらえるような人ではないでしょうか。なぜならそうした人がいて初めて、リーダーとリーダーの夢が生かされるからです。

ある哲学者は「畏敬の念を忘れたとき、人は墮落する」という言葉を残しています。この言葉は、「自分一人でもできる」と思い上がる心を戒めています。その背景には、「人は一人では生きられない」という謙虚さが失われつつあることへの懸念が感じられます。

私が建学の精神のひとつに掲げている「徳をのぼす」は、この言葉に通じるものがあります。「徳をのぼす」とは、謙虚な心を持ち、人の寂しさや辛さ、痛みを分かり、それらを癒す心をのぼすこと。その優しさを家族から社会、世界へと伸ばしていったらいいと思っています。

また、命を大切にすることは「徳をのぼす」ことでもあります。「朝顔につるべ取られてもらい水」という詩に表されている通り、つるべに巻き付いた

し、それを達成するのがこの学園を創設したリーダーである私の信念です。

リーダーはときに「自分一人だけが頑張っているのではないか」と孤独を感じることもあるかもしれませんが、でも、日々真剣な心を持っていれば、誰かが見ていてくれますし、誰かが助けようと思っはるはずで。そう思える気持ちを持つこともまた、リーダーに求められる資質だと思います。

**日々の積み重ねと生き生きとした心が
魅力あるリーダーをつくる**

リーダーの仕事は、毎日同じことの繰り返しかもしれません。でも、それは建学の精神である「知をみがく」ことでもあり、理論的な研究と同じくらい重要だと思っています。

たとえば雑巾がけを1回だけするより、何度もするほうが効果があり、きれいになります。知力も同じで、毎日同じことの積み重ねが力になります。私も新聞のコラムや連載小説は読むようにしていますし、読書も若い頃からずっと続けています。このように、「知をみがく」には色々な意味を込めているつもりです。

そして、やはり美しいものに憧れを持ち、常に情熱を失わないことも、リーダーに求められる資質ではないでしょうか。私は映画を観るのが好きで、昔憧れた女優さんの名前は今でも覚えています。美しいもの、美しい動作、美しい服装は人の心を動かし、記憶に残るものなのです。

「憧れ」という字は、心を表すりっしんべんに「わらべ」と書くように、童心を持つことでもあります。学園の付属幼稚園児の声や笑顔は天使の様に人を引きつけます。また高校生の活発な足音や掛声は人との団結の力となり伝えられます。アメリカの詩人の詩に「青春とは、ある一定の年齢をいうのではなく、心の様相をいうのである」という言葉があります。年齢を重ねても、澁刺とした気持ちや情熱を失わなければ、何歳になっても青春であります。

たとえば、夜空を見て、「あの星は私のために輝

朝顔を大切に思う気持ちは、徳があるからこそ芽生えるもの。人間だけでなく、動物、虫、花など、命あるものすべてを慈しむことも大切だと考えています。

**冬木学園の大きな目的は、
社会を正しい方向に導くこと**

畿央大学の健康科学部は、命を大切にしたいという思いから設置しました。たとえば理学療法学科と看護医療学科は、人の命を健やかに保つよう助け、幸せな人生を送ってもらうために科学的、理論的、実技面を研究しています。健康栄養学科では、人生を幸せにするために「食」という栄養の原理を研究しています。

また、科学の進歩と同時に人の命が危険にさらされるような出来事が起こっており、近年では原子力発電所の爆発事故が人々を不安に陥れました。人間環境デザイン学科ではそうした出来事も踏まえ、建築やそれを取りまく環境について研究をしています。

最近頻繁に報道される学校現場や家庭における教育に関する事件には驚くばかりであります。命の大切さを伝え、社会を正しい方向に導くことは、教育学部の大きな目標のひとつです。今の時代、リーダーはそういった夢を持たなければならぬと思います

「美をつくる」と思える人は、青春を感じていることでしょうか。しかし、夜空を見ても何も感じない鈍感な人は、年齢的に青春期であつても青春とはいえません。このように、同じものを見ても、心を動かされない人は、人を引きつける力はないと思います。

美しいものに憧れを持ち青春を感じることに、そして、建学の精神のとおり、多くの人に憧れられる「美をつくる」ことも大切だと考えています。

**建学の精神こそ、今のリーダーに
求められる資質**

このように考えると、「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」の建学の精神こそ、リーダーに求められる資質といえると思います。冬木学園の学生こそは、新しいリーダーになるためにも、これらの建学の精神を基本に、実践に取り組んでほしいと思います。大切なのは「あんな場所に行つてみたい」「あんな人会つてみたい」「あんな映画を観たい」という憧れを情熱に変えて、勉学・研究に励むこと。そして社会に出たときに「冬木学園を卒業した学生は違うな」と思われ、社会に潤いを与えるような存在になってほしいと思います。本学園では先生との意志疎通ができませんし、教員と学生の距離も近いので、私の夢の実現は決して難しいことではないと思います。

**リーダーは、ついてきてくれる人が
いてこそ活かされる**

リーダーの基本的な役割は、みんなにやつてもらつて楽をするのではなく、目標に向かって自ら進み続けることだと思います。絶対的な考えなど存在せず、原動力とするのは、自分のためではなく、むしろついてきてくれる人のため、という思いです。ですから、ついてきてくれる人を放り出すのは、非常に勝手なことなのです。そのように考えて行動するリーダーなら、みんなが「力を合わせてついていこう」と思ってくれるはずで。そして冬木学園では、そんな真のリーダーを育てていきたいと思



今求められるリーダーシップとは

桃太郎はなぜ鬼に勝てたのか

「昔むかし、桃から生まれた桃太郎は、きび団子が欲しくて集まった、猿、犬、雉を引き連れて、鬼が島の悪い鬼を退治し、宝物を持ち帰って、村人たちにたいそう喜ばれました。めでたし。めでたし。」この桃太郎の話には、リーダーに求められるさまざまな要件がちりばめられています。

①明確な目標と柔軟な発想力

桃太郎は、困った村人を助けるという明確な目標を持ち、そのために行動を起こしました。昔なじみの村人や友人を頼らず、外部に仲間を求めました。猿、犬、雉との出会いは偶然でしたが、偶然を必然に変えるべく、目標達成のために最善の方法をその都度考えながら進んでいったのです。

②個性を生かす

猿は知恵、犬は行動力、雉は機動力で桃太郎を助けています。桃太郎の小型を大勢集めても強いチームにはならなかったでしょう。さまざまな個性をもった人たちが自分の力を発揮できるように育てるのがリーダーの役目です。

③リーダーの魅力

「この人の為に頑張ろう」「この人の為にいいいこう」というメンバーの気持ちを引き出すのがリーダーの魅力です。リーダーには3つの最低基準があります。第一は、公私の公を重んじることです。自分の為ではなく、組織のため、顧客のため、社会の為に優先するので。第二は、メンバーを大切にすることです。メンバーを大切にすることは、甘やかすことではありません。尊重し、平等に扱い、愛情を持って厳しく育てる事です。第三は、自力を見せることです。何らかの分野で「この人は、スゴイ」と思われることです。メンバーが困っている、悩んでいる時がそのチャ

対して自ら解を見出していく、主体的な能力と、自らの責任を果たし、他者との協調性を発揮できる、社会的な能力を身につけることが期待されています。

この「主体的な能力」と「社会的な能力」は、まさに、リーダーシップの2本柱を示しています。リーダーシップについて、心理学においてはPM理論が有名です。リーダーの果たす役割には、P機能(Performance function: 目標達成機能)とM機能(Maintenance function: 集団維持機能)があり、この機能の強弱により、リーダーをPM型、Pm型、Pm型、Pm型、Pm型に類型化できると考えます(大文字は機能の強いこと、小文字は弱いことを表す)。P機能は、目標を明確に示し、課題遂行のためにメンバーを鼓舞し、課題を達成すること、M機能は、人間関係の維持を大切にし、コミュニケーションが上手くいくように調整することです。実証研究の結果、多くの場合には生産性の高い順に、PM型>Pm型>Pm型>Pm型であり、リーダーが集団の置かれている環境を統制しやすい場合もしくは統制が非常に困難な場合には、Pm型>Pm型>Pm型>Pm型であり、PM型であると考えられています。P機能を果たすために必要な能力が「主体的な能力」であり、M機能には「社会的な能力」が必要です。学生が身につけるべき力とは、優れたリーダーシップなのです。



④やれば認め報いる

桃太郎がきび団子を持っていなければならぬ？桃太郎がきび団子を不公平に分配していたら？桃太郎が宝物を独り占めしていたら？…きつと鬼退治は成功しなかったでしょう。やれば認められ報いられることで人はヤル気が起きますのです。きび団子は有形・無形のさまざまな報酬を意味しています。

このようなリーダーの条件を持った桃太郎だから、鬼を退治できたのです。

時代が求めるリーダーシップ

日本の未来を築くため、現在、大学教育には質的転換が求められています。本年出された文部科学省中教審大学分科会の審議まとめにおいては、「学生に生涯学習習慣や主体的に考える力、どんな状況にも対応できる力を育成すること」が大学の重要な責務であるとされています。そのため、学生には、将来予測が困難な時代において、答えのない問題に

鬼退治に成功したリーダー桃太郎は、「明確な目標」を示し、「柔軟な発想力」で課題遂行をめざし、「やれば認め報いる」ことで目標達成の喜びを与えました。「個性を生かしたチーム管理」と「リーダーの魅力」という牽引力で集団をまとめました。まさに、PM型のリーダーであり、これからの時代に求められる能力を持った人です。

人を育てる恒久の原則

私の義父は海軍飛行予備学生で神風特別攻撃隊として出撃30分前待機を経験した人です。その父からよく聞かされるのが、次の言葉です。

やってみせて、言ってみせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。
話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。
やっていると、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。

これは、日本海軍の名将であり、誠実で思いやりのある人柄が水兵から副官まで多くの部下から慕われていた山本五十六元帥の言葉です。

第一段は、上司・先生が率先垂範し、することの意味を十分に納得・理解させ、実地教育し、正しく評価することの重要性を意味しています。第二段は、意思疎通を図り、心から相手の話を聞き、認めたらうは上司・先生が責任を持ち本人に遂行させることの重要性を意味しています。第三段は、一人の人間として尊重して、信じて見守ることの重要性を意味しています。人を育てるうえで重要なことと全てがこの文章に網羅されていると思います。

社会の変化と共に求められる人間像は変わります。しかし、この文章が示す「人を育てる原則」は、変わりません。優れたリーダーの育成にも共通する恒久の原則です。



畿央大学 教育学部
現代教育学科 准教授
粕井 みづほ



畿央大学が育てる 理学療法士のリーダー

理学療法士の勤務場所は、病院リハビリテーション科、福祉関係施設、小児施設等様々ですが、ここでは医師、看護師を中心とした医療、福祉チームに所属しています。従って、対象者を治療している専門職も様々であり、お互いに尊重しつつ、自分たちの意見を主張し、かつ、相手の意見を聴く姿勢が求められます。

さて、リーダーには様々な定義がありますが、私は管理職だけがリーダーであると考えていません。リーダーとは、チーム全体の目標に向かって様々な人々に良い影響を及ぼすことが可能な人と考えています。以下、私の考えるリーダーが持つべきリーダーシップについて述べたいと思います。

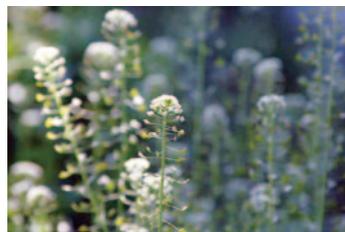
最も重要な要素は、対象者の事を思い続け、専門家として切磋琢磨し、対象者にとって良いことなのかという判断基準を何時でも持っていることです。当然ですが、鋭い感性も必要になります。日々、多くの障碍を呈する方々と接していると、対象者の悲しみ、喜びに対する感性が鈍くなり、結果として自分自身のやる気、理学療法の内容に影響を及ぼす事があります。松尾芭蕉は、「よく見ればナズナ花咲く垣根かな」と歌っていますが、誰も見ていない垣根で、見た目は美しいとは言えないペンペン草が一生懸命咲いている事に感動しています。このような受け手側の感性の高さがとても求められる仕事であると考えています。そして、ここが重要なのですが、前述した要素を持ち続けることが必要です。

私は10年以上現場にいた理学療法士であり、原点の現場が大好きでして、今でも週に1回はリハビリテーション病院に行きます。現場の理学療法士を観察していると、自分で宣伝しないから誰もが気づかないけど、対象者にとって良いことを陰ながら実践している理学療法士を見かけます。例えば、やる気のなくなっている折り紙好きの対象者がいれ

合をよく見かけます。一方、専門家としてはあまり能力が高くなっても、その人が管理職になり、チーム全体の力が改善する場合もよく見かけます。

また、カリスマ性は必要ではなく、むしろ、厳しい意見を含めて周りのスタッフからどの程度指摘してもらえるのか、すなわち謙言されるのが重要であると考えています。従って、そのような職場環境を構築出来るかが重要と考えています。例えば、カリスマ的管理者が会議で司会をして自分の意見を言い、反対意見があっても誰も発言できないようなチームがありますが、全体の力は改善しないと考えています。

さらに重要なリーダーシップとして、強い信念、行動力があると思います。知行合一という言葉がありますが、知っていても実行していなければ、知っていることにならないという意味です。明治維新のリーダーであった吉田松陰は、知識をつけることは行動することの始まりであり、行動することはつけた知識を完成させることである。行わなければ知っているとはいえない。知っていても行わないのはまだ知らないのと同じである。知って行ってこそ、本当の知恵、真知であると述べているそうです。建学の精神の1つであ



ナズナの花、ペンペン草です



畿央大学 健康科学部
理学療法学科長
庄本 康治

ば、担当者が寝不足になりながらも折り紙を練習して、治療に加えたりしています。このような陰徳、人に評価されないかもしれないが、相手のために徳のある行為が出来るのかも極めて重要であると考えています。対象者が悲しんでいるときに、眼を見つめて優しく話を傾聴でき、その悲しさを受け止める事も同様ですが、これらを実践している人には美しさを感じます。建学の精神との関係では、「徳をのぼす」、「美をつくる」に該当すると考えています。

さらに、チーム全体を考えた意志決定、行動が求められます。チーム内にはどうしても専門家としての能力の差異が出現します。リーダー自身の専門性の高さはもちろん必要ですが、能力の低い人に対してチームで教育可能な環境を構築でき、適材適所の人員配置が可能かも要求されます。自分自身の専門性を高めることに集中している専門家はこのようなことが苦手である場合が多く、彼らが管理職になってチーム全体の力が落ちる場

る「知」を私はこれと同一として捉えています。従って、「知をみがく」には必ず実践を伴い、同時に、すぐに実行する事、必ず実行する事、出来るまで実行する事が求められると考えています。さらに、チームやリーダーに起こるすべての出来事を、善し悪しに関係なく、すべて有り難いと考えられるプラス思考も重要と考えます。そして、仕事は個人、家庭のためのみに存在しているのではなく、公のためにも実行しているという意識を持つことが重要と考えます。すなわち、未来の障碍者のために専門家として何が出来たのか、50年、100年後の理学療法をどうするのかという事を真剣に考え続けることが求められていると思います。

さて、今まで述べたリーダーシップをどのように養成すれば良いのでしょうか。明確な回答はありませんが、まずは教員がリーダーを輩出すると本気で思うことであると考えています。学生さんは、自分自身が理学療法士として生きていくという志を立て、この職業こそ天職であると思うことが重要だと思います。そのためには、大学生の時期にこそ、偉人の伝記を読まなければいけないかもしれません。感性を鋭くするには教養科目も重要です。学内外の様々な経験が必要になります。協調性、行動力、プラス思考、その他の様々なリーダーシップ力も同様ですが、生涯教育を通して切磋琢磨するしかありません。大学生時代にすべてのリーダーシップを身につけることはもちろん不可能ですが、常に建学の精神に戻って、内省する習慣を身につけるといふ基本工事が出来ればと考えています。一見、急成長したように見える木の見栄えは良いでしょうが、しっかりとした根っこがなければすぐに倒れてしまいます。建学の精神に基づいて根っこを深く張り、倒れない木を輩出したいと考えています。

チームワークの中で育つリーダー 教員をめざす学生たちの取り組み

リーダーと組織・集団

楽しみにしていた遠足が、雨で中止になったりすると、雨を恨めしく感じますが、水不足に見舞われた夏の雨は、この上のない恵みになります。物事の評価をするときには、状況や目的が明確になっていなければなりません。従って、リーダーの資質を考えると、どの様な組織におけるどのような役割を担うのかを考える必要があります。

ここで「リーダー」と「マネージャー」について整理してみたいと思います。リーダーは、「何か」をリードするわけですからその「何か」を実践します。一方、「マネージャー」は、組織全体をマネジメントすることが求められますから、全体を把握することを自身の実践よりも優先します。このように考えると、リーダーに求められる資質は、「何か」に対する実践力が基本になると言えます。

リーダーが実践する「何か」とは？

高校野球を例に考えてみましょう。リーダーと言っても、様々な局面や役割がありますので、仮に「攻撃のリーダー」としての4番バッター、「守りのリーダー」としてのエースピッチャーを想定してみましよう。単純に考えれば、最も打撃スキルの高い選手が4番で、最も投球スキルの高い選手がエースピッチャーということになりますが、必ずしもこのようになっていないことが、高校野球では多く見られます。つまり、チームの外から見ていると「こっちの選手の方がよく打つのになぜ4番にしないんだ」とか「どう見たってこっちのピッチャーの方がいい球投げるよね」という声が出てくるケースです。この場合、競技スキルの高さだけでなく、重圧の中で結果を出す勝負強さをもっていたり、失敗しても

他の選手から「僕たちでカバーしよう」と言われたりする選手が選ばれていることが多いのです。

これらの選手はうまいだけでなく、みんなから一目置かれる選手だと言えましよう。一目置かれるための実践も、リーダーとして認められるためには重要な実践なのです。

一目置くって何？

一目置くということは、優れている人に対して敬いの心をもつということです。

しかし、それはたやすいことではありません。たとえば、自分が一番自信を持っているスキルより、高いスキルをもつ人が現れたとき、あなたはどのような感情を持つでしょうか？「すごいなー」という敬いの気持ちでしょうか？それとも「くやしい」という嫉妬でしょうか？すぐに敬いの気持ちを持た

れる方も少なくないと思いますが、私の場合には、嫉妬が先に出てきてしまいます。だからといって、その人をけなしたり攻撃したりはしません。その人の優れた面を意識して、自分もそうなりたいという、ジェラシー型の嫉妬として持つようにしています。(嫉妬には、その人の足を引っ張ってギャップを埋めようとするエンビ型嫉妬と、自分自身ががんばってギャップを埋めようとするジェラシー型嫉妬があります。『嫉妬学』和田秀樹を参照)

簡単なことではありませんが、そうすることで、その人を敬いながら、自分自身の向上のためのエネルギーに変えています。

私は、リーダーの誕生には、互いの優れたところを認め合うことができる集団が必要だと考えています。この畿央大学で、その集団を築き上げていく学生たちの姿に、しばしば出会ったことがあります。

学生の取り組み

畿央大学では、学生が自ら企画し運営する活動が多く行われています。学生たちは何度



も会議を開いて企画を練り上げていくのですが、企画のプロではありませんので、なかなかスムーズには進みません。統括する学生は、うまくまとめることができないことに悩むことも少なくありません。それでも様々な苦勞を何とか乗り越え、活動を終えてから、全員でふり返しを行います。このふり返しは、互いの思いや取り組みを共有し、互いを認め合うことの大切さを、理屈ではなく実感する時間なのです。そのふり返しを見ていると、彼らが手に入れるのは、活動を進めるスキルではなく、チームとして行う活動(チームワーク)のスキルだと思ふのです。そのとき、統括はもちろんのこと、すべてのメンバーがそれぞれのパートのリーダーになっています。このチームの中に、互いに一目置きあえる雰囲気のできたのだと私は感じるのです。

教員になったときのこと

さて、教育現場に限ったことではありませんが、現代社会の複雑さを考えたとき、個人ではなくチームとして取り組むことの必要性は明らかです。チームとして取り組むときに、チーム全体の方向性やバランスをコントロールする「マネジメント」はもちろん重要です。しかし、その前にチームが存在することが前提になります。そのためには、互いの苦勞やがんばりを共有して、それぞれの分野におけるリーダーとして互いに認め合おうとする意識が必要だと考えるのです。言うなれば、チーム全体が共有する「リーダーシップ」です。このリーダーシップは、組織が変わり役割が変わっても役に立つものです。

学校現場でリーダーシップを発揮する教員を養成するために、学生がチームになって取り組む活動を支援していくことが重要だと考えています。

畿央大学 教育学部
現代教育学科 准教授
奥田 俊詞





リーダーシップを育てる ～生徒会リーダー研修会の試み～

関西中央高等学校では、生徒のリーダーシップ育成のため、毎年、生徒会をはじめに学級委員・美化委員・生活委員・文化委員・保健体育委員の各専門委員会の委員長と運動部、文化部の主将や部長という生徒の代表が参加して「リーダー研修会」を実施しています。

リーダー研修会は建学の精神「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」のもとに①リーダーとしての自覚とその資質の向上を目指す、②お互いの親睦を深めながら広く意見を交換し、今後の生徒会活動に活かす、③リーダー間の結束力を強め、率先して元気な学校作りを実現するための行動力を養う、の3つを目的に様々な研修プログラムを取り入れています。研修会で話し合われた内容は各専門委員会や部活動で報告され、生徒間で意思統一を行い、実践しています。今回は、生徒のリーダーとしての自覚を促すとともに理想のリーダー、リーダーとして必要とされる資質とは何かを考える場となっているこの取り組みについてご紹介します。

新たなリーダー研修会

リーダー研修会は関西中央高等学校の前身である桜井女子高等学校であった昭和50年から始まり、平成10年まで毎年実施されていましたが、次第に生徒会活動が形骸化し実施されなくなりました。しかし再び学校活発化の原動力は生徒であることを再認識し、平成17年から毎年実施されています。

再開後、大きく変わったのは参加者の構成でした。これまで生徒会役員と各クラスの学級委員、専門委員会の正副委員長で構成される中央役員が主なメンバーでしたが、男女共学化で男子生徒が入学し、部活動もよりいっそう活発化したこともあり、部活動の主将および部長も参加した新しいリーダー研修会へ

徒全体で考えていかなければならないことについて話し合います。日常の学校生活で気になることや問題点、改善すべき点など生徒の視点で話し合います。例えば、校内や通学路でのマナー、あいさつ、生徒の雰囲気などさまざまなケースで何が問題なのか、どうすれば改善されるのかを話し合います。教員が考えてもいなかったことや、気づいていなかったことなども話し合いに出ることもあり、有意義な研修となります。

2つ目は分散会です。全体研修での課題のうち、部活動で話し合わなければならない内容や専門委員会でも話し合う内容など、それぞれの分野に分かれて話し合いをしていきます。

3つ目は分散会で話し合われたことを参加者全員で共有しあう発表です。ここで発表された内容をリーダー各自がしっかりと把握し、研修後にクラスや専門委員会、部活動の生徒に報告することで全校生徒がリーダー研修会で話し合われたことを共有します。

4つ目は振り返りです。研修を通して学んだことや話し合ったことを振り返り、記録します。振り返りを行うことで、研修会をより実りあるものにしていきます。



と発展しています。

会場は、野外活動センターなど学外の様々な施設で行われ、今年度は10月26日・27日の1泊2日の日程で国立曽爾青少年自然の家で研修会を行いました。基本的には1泊2日の宿泊研修を行ってリーダーとしての自覚を形成していきます。

生徒が主体となり話し合う

研修会では生徒が主体となり、どのように学校を活性化させられるのかを話し合います。教員が主導するのではなく、生徒自身がリーダーであるという自覚をもって話し合いを進めていくのです。

オリエンテーションでは生徒指導部長、生徒会の先生方からリーダー研修会の意義と目的などの話を聞き、その後、実際の研修に入ります。研修は大きく分けて4つのプログラムが組まれています。

1つ目の研修では生徒会活動について、生
これ以外にも、講師を招いて「リーダーとは何か」についての講義や今年度のスローガンや統一目標を決めたり、リーダー間の親睦や絆を深めるためのレクリエーションなども行われます。

学校生活に活かす

リーダー研修会で話し合われた内容は学校生活に反映されます。例えばあいさつ運動や校門一礼です。カトリア前号の特集でも取り上げられたとおり、本校では「元気なあいさつ日本一」を目標にあいさつの徹底を実践しており、この標語はリーダー研修会で話し合われた成果です。また校門一礼も学校に対する感謝の念や学校を盛り上げようという議論から活動生が積極的に学校行事に参加したり、生徒会中央役員に立候補したりしています。それ以外に部活動生は登校時に通学路に落ちているゴミを拾う活動も実施しています。これらの実践はすべてリーダー研修会で話し合われた成果です。

生徒の中には研修会に参加する前後で言動や行動が変わる者がいることを考えればリーダー研修会の役割は大きいと言えます。

関西中央高等学校 教諭
生徒指導部
車谷 充



冬木学園を支えてくださるみなさんからのメッセージをご紹介します。

子ども体力・地域体力 向上プロジェクト

NPO法人ポルベニルカシハラスポーツクラブ
理事長 福西 達男 さん



奈良県小学生の体力測定数値は全国で45位という結果が平成22年に発表されました。橿原市でスポーツを通じた地域の人々の健康づくり、子どもの健全育成に取り組んでいる当法人としては非常にシヨックを受け、体力向上の為に取り組みにより一層励まなければと感じました。子どもたちの体力は幼児期から様々な動きや遊びをしていること、生活習慣や食生活が安定していることが重要であり、そのことが成長期に急に体力が向上する要因にもなります。そこで園児たちの運動に対する意欲向上の仕掛けとして畿央大学理学療法学科の福本先生、瓜谷先生、松本先生や学生方と協力して園児たちの体力測定を実施し、その結果を

分析して体力向上のためのプログラムを作成しました。あわせて保護者に対する食育セミナー、運動に対する意識調査も実施しています。セミナーでは健康栄養学科喜多先生にもご協力いただきました。本プロジェクトは現在進行中ですが、奈良県、橿原市内の幼稚園、保育園と協働し積極的に取り組んでいます。スタッフとして参加している学生の明るく、礼儀正しく、積極的な取り組みに感心し、感謝しています。学生たちの行動の源は学ぶ喜びや仲間との絆であり、畿央大学が実施する教育の充実ぶりを感じています。一緒に協働できることに感謝し、畿央大学及び関係者の皆様の今後益々の御活躍に期待しています。



園生活の中で

棚村 直子 さん
畿央大学付属幼稚園
ゆり組(年中)園児
棚村陽樹くん 保護者

陽樹は、昨年まで二つ年上の姉と通園し、姉の友達に混ざって遊んでいました。その姉も春に卒園してしまい、一人で園生活ができるのか心配していました。年少組の頃は家で話していてもお友達の名前はほとんど出てきませんでしたが、年中組になると、〇〇ちゃん、〇〇くん、年長組の〇〇くん、と縦割り保育の時間に遊んでくれる年上のお友達の名前も出てくるようになりました。そうなる、たくさん良い刺激を受けて、遊び方や話の内容も成長していきます。毎年、運動会で年長組は和太鼓を披露してくれます。たくさん練習を積んで頑張っている姿に憧れて、息子も「ぼくは来年和太鼓をする！」と家で今からトントントン箱をたいて練習(笑)しています。

「〇〇くんが卒園したら淋しい」と時々、今から春を思っ不安になっていますが、昨年からは今年成長してくれたように、きっと来年も園生活の中で成長してくれると信じて楽しみにしています。

恩師のような教師をめざして

古口 実加 さん
関西中央高等学校 2008年卒業
学校法人東洋学園 近畿情報高等専修学校 勤務



関西中央高等学校へ入学した当初は、あまり勉強もせず、のんびりとした高校生活を送っていました。高校2年の頃から何度も何度も担任の先生と面談を重ね、将来について真剣に考えるようになりました。教壇の上では厳しく、教壇から一歩降りると友達のように接してくれる担任の先生の姿を見ていると、いつの日か、私も担任の先生のような国語の先生になりたいと思うようになりました。8限授業の後にも夜遅くまで友達と取り組んでいた自習時間も、今思えば貴重な経験だったと思います。

大学進学後は教職課程を履修し、アルバイトで塾講師を経験しながら、教師をめざし日々勉強に取り組んでいました。卒業後、私立の高等専修学校に国語の教員として勤務し、今は3年生の副担任を務めています。やんちゃな生徒も多く、大変なことがありますが、生徒が少しずつ心を開いていってくれるのが実感できたとき、とてもやりがいを感じます。

今こうして頑張れるのも、高校時代に支えていただいた先生や友達のおかげだと思ひ、本当に感謝しています。

大学生活を振り返って

山下 美有希 さん
畿央大学 健康科学部 看護医療学科4回事



「もう一度畿央大学で学びたい」そう強く思ったことが、私の今の大学生活の始まりでした。

私は妊娠を機に大学を辞めました。しかしどうしても夢を諦められず、再び看護の道をめざしました。その際大学の先生方や事務の方、たくさんの方が協力してくださり、私に「再入学」というチャンスを与えてくださいました。

いざ大学生活が始まると、育児と学業の両立は本当に大変でした。それでも私が日々を過ごすことができたのは、周りの人たちの支えがあったからです。私の事情を知りいつも気にかけてくれた友人たち、家で支えてくれた家族、育児で悩みがあったときは先生方が相談ののってくださり、大学生活は周りの人たちへの感謝の日々でした。

あつという間に4回生になり、もうすぐ卒業を迎えます。私は講義で興味を持ったことと自身の経験から、来年度は助産学専攻科へ進学します。想いやりにあふれた助産師になり、今まで支えてくださった方たちに恩返しができるよう頑張りたいです。

私の先生

私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけでなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

岩城 啓子 先生「畿央大学健康科学部健康栄養学科 教授」
先生以上の存在



井戸川 智保さん
畿央大学短期大学部生活科学科
栄養士養成コース 2004年卒業

先生、同窓の皆さん、お元気ですか。私は富士産業株 関西事業部に就職し、老健で委託栄養士として六年間勤めましたが、結婚で退職し今は育児に専念しています。岩城先生は、私にとっても縁のある先生です。担任であり講師であり、サークルの顧問でした。先生は、知れば知るほどに新しい面が見える不思議な魅力のある人

で、その人柄が反映された実験や講義は面白く印象に残っています。バレーボールのサークル活動でも、一生懸命に練習に付き合ってくださり、むしろ誰よりも一番楽しそうにレシーブやボール拾いをしていたような気がします。いつも等身大に向き合ってくださって、冷静そうな中に熱いものを持つている先生です。卒業して9年ほど経つ今でも先生とのお付き合いが続いていることはとても貴重だと思います。お会いした時は元気をもらい、何気ない言葉に励まされています。これからもこのご縁を長くつなげていきたいと思っています。

Comment

智保さんは、短大最後のクラスの学級委員のお一人でした。クラスは三十数人でしたがみな深刺として、勉強やサークル活動だけでなく、大学一年生との畿央祭の立ち上げなどもよく頑張っていましたね。私の方が皆さんから元気をもらっていました。今はお仕事もお住まいもいろいろなっていますが、これからも明るく、そして時々元気な便りを聞かせてください。



中城 進 先生「畿央大学教育学部現代教育学科 教授」
安心と信頼



森本 彩さん
愛媛県松山市立味酒小学校勤務
畿央大学教育学部現代教育学科
2012年卒業

2012年に畿央大学を卒業し、現在は地元の小学校で養護教諭として勤務しています。多くの子どもたちに囲まれ、先輩の養護教諭の先生にご指導いただきながら日々頑張っています。

中城先生には、授業やゼミ、卒業論文など大変お世話になりました。私は心理の授業をよく取っていたため、中城先生の授業

を受ける機会も多くありましたが、私の記憶の大半は、先生と研究室で長々とお喋りしていたことです。2人で話し込み、気付いたら2時間以上話していたということも；笑）そのくらい先生とのお喋りはとても楽しかったです。世間話から心理、教員採用試験のことまで幅広く話し、私自身、色々なことを気軽に話せる先生がいることがとても心強かったです。なんとなく話しに行こうかなと思える先生の存在は、私にとって大きな支えになっていました。私も、学校にいる子どもたちにとってそのような存在になれるように、日々の関わりを大切にしていきたいと思っています。

Comment

森本彩さんの存在を最初に感じた時は、『心理学基礎演習』（2回生）の時間でした。全身から溜息が漏れ出ているように感じましたが、それとともに「この人はナチュラルな秀逸さを有している」とすぐに気がつきました。話してみると、その通りでした。「溜息を力に変えられるようにしてみたいな」と思いました。泣き、笑いながら学び、教採に合格し、そして弾けるような笑顔で卒業してくれました。



福井 忠世 先生「関西中央高等学校三年四組担任 バトン部顧問」
厳しさが学んだこと



近藤 碧美さん
関西中央高等学校
普通科畿央大学コース教育コース
(3年4組)

一年生の時にバントワリング部に入学しました。そこで顧問の福井先生に初めて出会いました。先生は、厳しいけれど部員一人ひとりの事を理解してくれています。うまく演技できない日は、先生のお話を聞くと「もっと頑張らないと」という気持ちになります。そして、三年生では、なんと私のクラス担任になりました。

三年生で受験を控え、きつと厳しいだろうなど予感した通り、毎日厳しい苦言が飛びました。しかし今になって思えば、福井先生が担任だったからこそ、勉強する習慣のなかった私が受験生としての危機感を持つて勉強できたのだと思います。進路についても、興味はあったものの一歩踏み出す勇気がなかったとき、先生が背中を押してくださったおかげで決めることができました。顧問としても、担任としても、福井先生にはとても感謝しています。もうすぐ高校生最後の大会があるのですが、金賞をとって福井先生にプレゼントしたいです。

Comment

人一倍努力家で勝負な近藤さんの、バトンにかける思いは非常に強く、技の習得の為に黙々と練習に励む姿が印象的でした。三年生になっても引退せず、一月の大会に向けての部活動と受験勉強を両立させ、みごと関西外国語大学合格を果たしました。
英語の知的好奇心旺盛な彼女の夢は、英語で社会貢献できる仕事に就くことです。これからも、彼女の夢の実現を願う応援団長であり続けたいと思います。



大谷 加奈 先生「畿央大学付属幼稚園 教諭」
恩師と出会えたことを誇りに



田守 奈津子さん
桜井女子短期大学付属幼稚園
1994年卒園

幼少期を思い返すと、遠足や運動会や合奏会、通園バスや給食の時間等、様々な貴園での思い出があります。姉妹で付属幼稚園に通っており、当時の想い出を語り合った際、両親が多忙であった為、幾度かお弁当を持参できなかったことを懐かしく思い出しました。その度、先生方が母と連絡を取り、親身に対応していただいたことを思

い出しました。今となつては懐かしい出来事ですが、当時の私達は途方に暮れ先生方には大変お世話をかけました。
恩師の大谷先生には、在園中のみならず卒業後も年賀状やお手紙を度々いただきました。今でも幼少時のその喜びを思い起こすことが出来るほど、先生からのお手紙は、いつも私にとつての最高のサプライズでした。ご多忙にも関わらず、文通での丁寧な対応や、熱心で愛情のあるご指導には今でも感謝しております。改めて、素晴らしい恩師と出会えたことを誇りに思います。
冬木学園の更なる発展と、先生方のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

Comment

奈津子さんは、平成5年度に担任した園児のうちの一人です。とても上品で落ち着いた、くりっとした目が印象的なかわいらしいお嬢さんだったと記憶しています。当時、私は勤めはじめて間もないころで、無我夢中でクラス運営に当たり、園児一人ひとりの自立心を大事にする、みんなが明るくいざいざとしたクラスづくり、といったことを目標として取り組んでいました。あれから時間が流れ、多くの経験を積んで立派に成長された姿を目の当たりにし、とても感激しています。今後の奈津子さんのますますのご活躍を期待しています。



7月

畿央大学



バッククッキング講習会

7日(土) 後援会総会・保護者懇談会
14日(土)・15日(日) オープンキャンパス
28日(土) 第7回バッククッキング講習会

関西中央高等学校



オープンスクール

2日(月) 教育講演会
23日(月)~8月4日(土) 特進夏期講習
28日(土) 第一回オープンスクール
31日(火)~8月3日(金) スタンダード勉強合宿

畿央大学
付属幼稚園



お泊り保育

2日(月) 第4回Kioオープニングガーデン
3日(火) 七夕保育参観
7日(土) 七夕まつり
14日(土) 親子交流会
17日(火) 第5回Kioオープニングガーデン
21日(土)~22日(日) お泊まり保育
(年中組)
30日(月)~8月
1日(水) 夏期自由
保育

8月



やまとフォーラム

5日(土) 運動器リハビリテーション
セミナー応用編
11日(土) ひらめき☆ときめきサイエンス
17日(金) 教職員のための夏の公開講座
18日(土)・19日(日) オープンキャンパス
24日(金)~26日(日) えほん展なら
26日(日) 第4回やまとフォーラム



文化祭

25日(土) 第9回オープンスクール
31日(金)~9月1日(土) 文化祭



夏期自由保育

2日(木) 第6回Kioオープニングガーデン
18日(土) 清掃奉仕作業
24日(金) 第7回Kioオープニングガーデン
28日(火) 親子でダンス
28日(火)~30日(木) 夏期自由保育

9月



オープンキャンパス

16日(日) オープンキャンパス
29日(土)・30日(日) ニーロリハビリテーション
セミナー応用編



体育祭

24日(月) 生徒会立会演説会
27日(木) 体育祭



卒園旅行

7日(金)・8日(土) 卒園旅行(年長・国立曾爾
青少年自然の家)
15日(土) 敬老参観日

10月



畿央祭

7日(日) オープンキャンパス
20日(土)・21日(日) 畿央祭・ウエルカムキャンパス・
ホームカミングデー
22日(月) クリーンキャンペーン
28日(日) 運動器リハビリテーション
セミナー臨床編



生徒会交代式

1日(月)~5日(金) 11日(木)~13日(土) 1年合宿教育
2日(火) 生徒会交代式
6日(土) 第一回入試説明会
26日(金)・27日(土) 生徒会リーダー研修会



運動会

6日(土) 秋季運動会
20日(土) 畿央大学学園祭参加
30日(火) 秋の遠足(生駒山上遊園地)
31日(水) 稲刈り(年長組)

11月



ものづくりメッセ

10日(土)・11日(日) ものづくりメッセ2012出展
10日(土)・11日(日)・18日(日) 公募推薦入試
21日(水) ナント元気企業マッチング
フェア2012出展



二年生修学旅行(台湾)

6日(火) 情報科学習指導研究会
10日(土) 第二回入試説明会
21日(水) クリーンキャンペーン
25日(日)~28日(水) 二年生修学旅行(台湾)



バザー展

8日(木) 第8回Kioオープニングガーデン
9日(金) 秋季火災予防マーチング
演奏参加(年長組)
15日(木) 警察署・消防署訪問
26日(月) 子ども成長造形展

12月



現代教育研究所シンポジウム

1日(土)・2日(日) ニーロリハビリテーション
セミナー臨床編
2日(日) オープンキャンパス
8日(土) 現代教育研究所開所記念
シンポジウム



創設のころを偲ぶ集い

1日(土) 第三回入試説明会
3日(月) 創設のころを偲ぶ集い
16日(日) 第一回入試対策説明会
22日(土) 第二回入試対策説明会



クリスマス会

3日(月) 給食試食会
4日(火) 交通安全人形劇・防火訓練
6日(木) おもちつき大会
7日(金) マラソン大会
11日(火) クリスマス会

畿央大学 2012年度就職状況

来春卒業予定の大学生の10月1日時点の就職内定率は63・1%で、前年同期より3・2ポイント上昇したことが、文部科学省と厚生労働省の調査で分かりました。内定率が60%台に乗ったのは3年ぶりのことです。それでもなお、約40%の学生の進路は決まっておらず、薄日は射したとはいえ依然と厳しい状況には変わりはありません。そのような状況の中でも、畿央大学生は今年も大健闘しています。12月2日現在での健康科学部の就職内定率は85%を超えています。また、就職先が未決定の学生たちは現在も積極的に活動を継続しています。

畿央大学では、キャリアセンターに各学科専任の担当者を配置し、集団指導とグループ・個別指導の両面から学生の支援を行っています。支援の中核となるのが、「キャリアガイダンス」です。企業就職希望者には3回生の4月から1月にかけて毎週(全29回)実施しています。また、私立幼保就職希望者には、3回生の5月から4回生の7月にかけて20回実施します。病院就職希望者には、



キャリアセンター・教職支援センターに対する学生の声

キャリアセンターの方々には非常にお世話になりました。電話をかける際のアドバイスを頂いたり、履歴書をご高見頂いたり、不安や悩みを聞いて頂いたり…本当に感謝しています。そもそも就活の動き出しから相談に行った私ですが、とても丁寧に指導頂きました。私は普段から行動がとろく、決断も苦手なのですが、キャリアセンターの皆さんに相談をして後押しをして頂いたことで一歩踏み出すことが出来ました。

教職支援センターには専門の先生がいて、細かくアドバイスをくださいます。同じ目標を持った友達がいつも一緒なので「絶対に合格してやる!」ととてもやる気が出ました。何かあればいつでも相談できるし、分からないことも丁寧に教えてもらえます。こういうところにも畿央大学の良さがあるんだな—と思います。

5月あるいは8月に集中講座として、就職のためのガイダンスやセミナーを開催しています。また、学内に企業の人事担当者や病院や施設の責任者等を招いての就職説明会や就職活動に必要な各種準備講座を開催し、手厚い支援を行っています。担当者の個別の相談件数は年間で1000件を超えます。またメールを活用しての相談も随時行い、学生の状況をリアルタイムにつかむことでの確かな支援を実現しています。

一方、教員希望者については、平成25年度から教壇に立つ教員の採用試験において小学校教諭で37名、養護教諭は4名という実績でした。また、公立幼稚園教諭・保育士を目指す学生たちも11月末段階で16名が合格を勝ちとっており、すでに昨年度の成果を上回っています。教員採用試験でこれだけの好成績をおさめることができた要因もまた、企業就職への支援と同様、顔が見えるきめ細かな支援にあるといえるでしょう。

畿央大学

2013年度入試のシーズンをむかえ、11月には公募推薦入試が実施されました。長引く不況の影響で、資格の取れる大学や就職に強い分野が人気化しています。畿央大学では、前年の入試で倍率が高かったことから反動で減少する学科もありましたが、大学全体では小幅ながら5年連続の志願者増となりました。「就職に強い」畿央大学の評価は年々高くなっています。特に増加が目立ったのは理学療法学科と看護医療学科で、理学療法学科は4年連続、看護医療学科は設置以降5年連続の増加です。医療系志向が一段と強くなっているのを感じました。人間環境デザイン学科も小幅ながら3年連続の増加で、人気が安定してきました。逆に健康栄養学科、現代教育学科は昨年の高倍率が敬遠されて、4年ぶりに減少しています。合格者数が増えて全体に倍率はダウンしましたが、それでも全学科の平均は8.1倍とハイレベルな入試になっています。

年明けからは一般入試、センター試験利用入試の出願が始まりました。2013年度入試の本番です。受験生の資格志向や実学志向の流れに変化はなく、畿央大学は一般入試やセンター試験利用入試でも多くの受験生を集めそうです。ただし、近年の志願者の増加で一般入試でも難易度が上昇していることから、前年の倍率を見ながらの出願となりそうです。

畿央大学大学院

昨年9月に行われた大学院健康科学研究科の1期入試の志願者数は、修士課程13名、博士後期課程4名で、ともにほぼ昨年なみとなっています。2011年度から新たに看護学分野を開設したことで、募集が安定するようになってきました。2月には2期入試が行われますが、問い合わせも増えてきているので、志願者の増加が期待されます。

助産学専攻科

2年目となる助産学専攻科は、昨年10月の推薦入試で10名の志願者(合格者9名)を集めました。開設初年度は募集広報の時間不足もあり、4人の入学者にとどまりましたが、今年は定員(10名)を上回る入学者が確保できそうです。2月に行われる一般入試に期待しています。

助産学専攻科の受験資格は看護師免許を有する女性で、4年制大学卒業の学位を持つこととなっています。本学看護医療学科の卒業生がそのまま進学することもできますし、他大学卒業生や、社会人経験者も入学可能です。

畿央大学 入試概要

学部	学科	入学定員	AO入試	公募推薦入試	一般入試			センター試験利用入試			社会人入試
					前期	中期	後期	前期	中期	後期	
					健康科	理学療法	60	3	24	19	
	看護医療	90	3	40	30	6	2	6	2	1	若干名
	健康栄養	70	3	31	22	5	2	4	2	1	若干名
	人間環境デザイン	45	3	19	12	4	2	3	1	1	若干名
教育	現代教育	145	6	65	45	12	4	7	4	2	若干名

試験区分・日程		試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
一般入試	前期A日程	1月23日(水)	本学 名古屋 大阪 岡山	1月4日(金)～1月16日(水)	2月4日(月)
	前期B日程	1月24日(木)	本学 大阪		
	前期C日程	1月27日(日)	本学 大阪		
	中期日程	2月19日(火)	本学 大阪		
	後期日程	3月10日(日)	本学 大阪		
センター試験利用入試	前期日程	—	独自試験なし	1月4日(金)～1月16日(水)	2月9日(土)
	中期日程	—		1月28日(月)～2月12日(火)	2月23日(土)
	後期日程	—		2月18日(月)～3月4日(月)	3月15日(金)

3年次編入学試験日程(教育学部)

試験区分	募集人員	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
後期日程	1名	2月10日(日)	本学	1月15日(火)～2月1日(金)	2月16日(土)

畿央大学大学院 入試概要

課程	募集人員		修業年限
	1期	2期	
修士課程	15名	5名	2年
博士後期課程	3名	2名	3年

試験区分	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
2期	2月10日(日)	本学	1月15日(火)～2月1日(金)	2月16日(土)

畿央大学助産学専攻科 入試概要

試験区分	募集人員	試験日	受験会場	出願期間(消印有効)	合格発表日
一般	4名	2月10日(日)	本学	1月15日(火)～2月1日(金)	2月16日(土)

畿校会

—— 畿央大学・畿央大学短期大学部・桜井女子短期大学同窓会 ——

ホームカミングデー

畿央祭にあわせて『同窓会サロン』を開催！

2012年10月20日(土)・21日(日)に開催された畿央祭にあわせて、卒業生を対象にした『同窓会サロン』が設けられました。今年で4回目となるサロン。来場者は2日間で213名(畿央大学の卒業生175名、畿央短大10名、桜井女子短大28名)。毎年来てくれている卒業生もいて、ホームカミングデーとして、同窓会の恒例行事となってきました。

学園祭の日に合わせて、同窓会を行うグループもあり、今春の卒業生の参加が多いのも特徴です。学長先生や先生方にもご来場いただいて、懐かしい恩師や旧友との再会を喜んでいただきました。また、結婚後の新しい家族連れの参加もあり、サロンがますます賑わいました。

掲示板には、多方面に活躍している卒業生のチラシや先生方から卒業生に向けた激励メッセージ(52通)を掲示しました。サロンに来ていただいた卒業生には模擬店で利用できる金券に加え、ガラガラ抽選会を実施しています。今年は、電動歯ブラシや焼酎など、大人な景品(?)を取り揃えましたの



毎年5月に行っている「同窓会総会」ですが、今年は8月7日(水)に予定しています。日曜も働いている方のために、はじめて平日に開催します！子連れ参加の方も大歓迎！主婦の方もお気軽にご参加ください(ランチを用意しています)。

で、学生時代とはまた違ったキャンパスの雰囲気味わってもらえたと思います。たくさんのご来場、ありがとうございました。

..... 桜井女子高等学校・関西中央高等学校同窓会 蘭友会総会のご案内

- ▶ 日 時：平成25年4月21日(日)午前10時～
- ▶ 場 所：関西中央高等学校
- ・メモリアルホール… 総会・アトラクション
- ・カトリア食堂… 立食による懇親会(予定)



▲平成24年蘭友会総会

寒気ことのほか厳しい毎日が続いておりますが、皆様方におかれましては、健やかに過ごしのことと存じます。蘭友会総会も皆様のお陰をもちまして第47回を迎えることとなります。蘭友会総会は上記の日程で開催いたします。ご多忙の折とは存じますが皆様お誘い合わせのうえ、ぜひ一度進化した母校にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

畿央大学
開学10周年

愛と絆 魅力ある未来へ

畿央大学が2003年4月に誕生して10年。

「健康」と「教育」をテーマに、専門的な知識と技術だけではなく豊かな人間性をそなえた人材の養成に努めてきました。私たちはこれからも「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」の建学の精神に基づく教育を、力強く進めてまいります。

《記念募金のご案内》
上記の記念事業および教育・研究・地域貢献事業のための募金にご協力をよろしく願っています。

その他の事業

◆10周年記念 健康科学研究所プロジェクト研究 (2012.4～2015.3)

テーマ1：
心豊かな生活をおくるための健康科学
テーマ2：
質の高い健康寿命をめざす健康科学



◆10周年記念 在外研究

- ・エクササイズおよび不動、機械的刺激による骨格筋変化の基礎研究 (2012.10～2013.9 於：アメリカ)
- ・黒人女性看護師 Mary Seacole に関する資料調査 (2012.10～2013.9 於：イギリス)
- ・ボンベイ州住民の健康の概念と健康行動に関する調査研究 (2012.10～2013.3 於：ミクロネシア連邦)

◆10周年誌発行

畿央大学開学10周年記念事業

この10年間の歩みを振り返り、その成果の検証と、発展を支えて下さった方々への感謝の気持ちを伝えるとともに、次の10年に向けて、畿央大学の今後めざすところを明らかにし、教育活動、研究活動の新たな発展につながる多様な周年事業を行います。

記念イベント

- ◆10周年記念式典 5月26日(日)
- ◆10周年記念祝賀会 5月26日(日)
- ◆10周年記念講演会 6月15日(土)
- ◆10周年記念モニュメント除幕式
- ◆10周年記念植樹

記念シンポジウム

- ◆パネルディスカッション「教育の未来を語る」 6月29日(土)
- ◆臨床栄養シンポジウム 7月7日(日) [変更後]
- ◆理学療法シンポジウム 8月24日(土)
- ◆看護学実習シンポジウム 8月31日(土)

地域連携イベント

- ◆人間環境デザイン学科大卒業研究・作品展 3月2日(土)・3日(日)
- ◆畿央大学地域連携フェア 12月8日(日)

《募金方法》

寄付申込書に必要事項をご記入いただき、お送りください。寄付申込書は畿央大学ホームページからダウンロードできます。

大学からお送りする振込用紙にて金融機関からお振込みをお願いいたします。(郵便局からのお振り込みはできません)。

現金送金(現金書留)や法人総務部窓口へご持参いただくこともできます。

◎税額控除について

寄付金の入金確認後、領収書と寄付金控除にかかる証明書をお送りします。確定申告の際に所轄の税務署に提出すれば、税額控除制度か所得控除制度のいずれかを利用して所得税が控除されます。詳細については所轄の税務署にお問い合わせください。

お問い合わせ・申込先
学校法人 冬木学園 法人事務局総務部植村・竹本
TEL 0745-54-1602 / FAX 0745-54-1600
E-mail: soumu@kio.ac.jp

畿央大学現代教育研究所
開所記念シンポジウムを
開催しました！

教師としての資質能力を育てる
〜今、そこにある課題を見つめて〜



畿央大学は附置研究所として「現代教育研究所」を平成24年4月1日開設しました。今後10年間で起こる現職教員の大量退職及び新任教員の大量採用に伴う教員研修の充実、職務の多様化と多忙化等の今日的課題に因應、教師の資質能力育成及びその支援を研究テーマとしています。

2012(平成24)年12月8日(日)13時から冬木記念ホールにおいて、文部科学省大臣官房人事課長中岡司氏、大阪大学大学院小野田正利教授らをお招きし、開所記念シンポジウムを開催しました。

第1部は、文部科学省中岡課長、下市小学校藤田校長、畿央大学教育学部島教授のパネラーにより、「教師としての資質能力を育てる」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

中岡課長(学校行政の立場)から「近年メンタルヘルスを受けている教員割合が減っているが、50歳



代の悩める世代の退職や学校規模が小さくなるとともに若手教員増加等が起因しており、管理職である校長のマネージメントが重要になってきている現状がある。」、藤田校長(教育現場から「教育は人なりであり、教職は責任感を持って子どもたちの人格形成を支援し遅く生きる力を育てなければならぬ。そのために教員はしなやかさ・たくましさ・貪欲さを持つてほしい。」、島教授(大学と教育現場を結ぶ立場)から「若手教員が楽しんで取り組める学校内研修の実践が大切である。現代教育研究所をその窓口、橋渡しとして活用願いたい。」などの提言がありました。

第2部は、大阪大学大学院人間科学研究科小野田正利教授をお招きし、「モンスターペアレント論を超えてく保護者と向き合う気持ち



と教職員の共同性」と題して、教育現場の教員が保護者との良好な関係づくりをどう行うか、それぞれの思いを理解し学校をめぐる課題をともに解決していく考え方などについて具体的な事例を交えて語っていただきました。

また、シンポジウムの後、参加者の多くが集い、学生食堂にて「懇親会」が催されました。

西尾現代教育研究所長の御礼の言葉、小野田教授をはじめ、パネラーのみなさんからメッセージをいただき、教育学部の1期生からは大学での経験や学びを勤務先の小学校現場で実践している報告がありました。

教育行政、現場、教員養成と教育研究の大学、そして学生という、教育を取り巻く多くの関係者によって、まさに今の教育課題が議論され一歩づつ進みはじめました。畿央大学現代教育研究所にかかる期待と役割は大きなものがあります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いたします。



修学旅行は台湾に！

関西中央高等学校では、2年生の秋に修学旅行を行います。旅行の目的は、見学・研修により見聞を広げることですが、2012年は11月25日(日)〜28日(水)台湾台北市に行き、国際交流を通して異文化理解を深めました。

関西中央高等学校では、平成23年度より3度にわたり台湾の高校生の訪問を受け、学校間交流による国際親善に貢献しており、交流会が成功を収めたことから修学旅行先を台湾に決めました。今回の交流先である、私立建台高級中学校は平成24年4月に来校しています。また、奈良県の学校が修学旅行などで台湾で交流するのは初めてのことであり、今後の奈良県と台湾との関係に大きな礎を築くことになったと思います。

3泊4日の日程のうち、2日目に訪問し、学校に到着すると、全校生徒3800名による熱烈な歓迎を受けました。先方のご厚意で一緒に水餃子を調理し、歌やダンスを披露しあい、身振り手振りでコミュニケーションを取りながら若者らしくメールアドレスを交換するなどしていました。約半年ぶりに再会した生徒たちですが、国境を越えて学校間を往来することにより更なる友好の絆が深まり、初めて肌で感じる異国の文化のなかで、生徒同士の心の交流ができ、忘れ得ぬ思い出を心に刻めたことは今後の人生で大きな糧になると思います。



田植えから稲刈りまで

畿央大学付属幼稚園は桜井市朝倉台の住宅街にあつて、周辺に米作りをしている農家は少ないです。園児も水田を見ることはあつても、実際に田植えや稲刈りなどの体験をした子どもはほとんどいませんでした。

今年度、田植えから稲刈りまでを年長児20名とその保護者と教職員で行いました。年中組の時にはケースとバケツで米の苗を育てる経験をしています。水田での米作りは幼稚園としても初めての試みでした。もみまきから田植え、稲刈り体験、また米(食)を大切に育てる気持ちを培うことが目的です。

日曜参観日に子どもたちと保護者と一緒に小さな手で苗を植えていきました。裸足で、土の感触を楽しんだり、田にいる虫を見つけたり、田植えをする環境の中にさまざまな発見をしていました。田植えの後には、収穫までの水の管理や草刈りなど稲穂が育つまで見守りました。

10月後半に、子どもたちと本物の稲刈り鎌を使って稲刈りをしました。大きくなった稲を見ながら、一つひとつ丁寧に束を刈っていました。貴重な体験ができたと感じました。

収穫したお米を1月の給食で食べるのが、楽しみです。

